

なんにもない

クロキゴウ

なんにもない  
なんにもない

なんにもないから  
種を植えた



そしたら芽が出た！



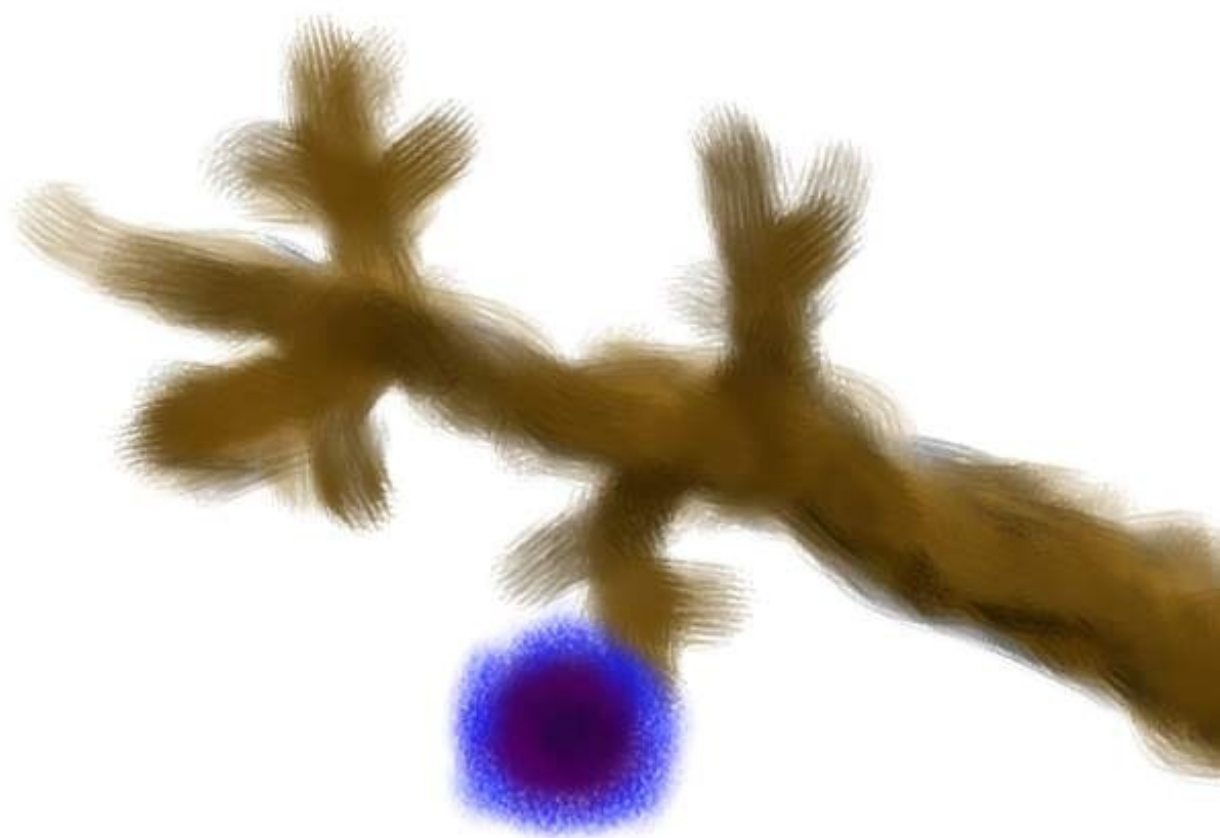
芽はメキメキおおきくなって



おおきな木になった



そしたら さきつぽに  
ひとつだけ 実がなって...



地面に落ちた





ふしぎな実だなーっ  
と よく見てみたら・・・



暗い部屋に  
体が 吸い込まれちゃった

暗くて何も見えないから  
あかりをつけなきゃ・・・  
そうだ お星さまを かこう  
そうすれば あかるくなるぞ

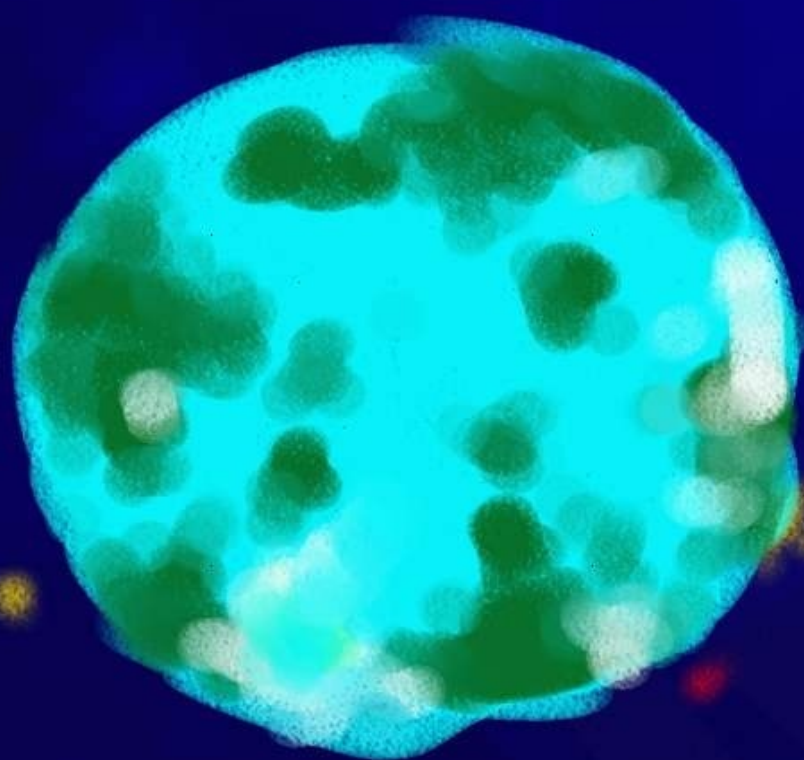
ポケットにはいってた  
きいろいクレヨンで  
たくさん星をかいた



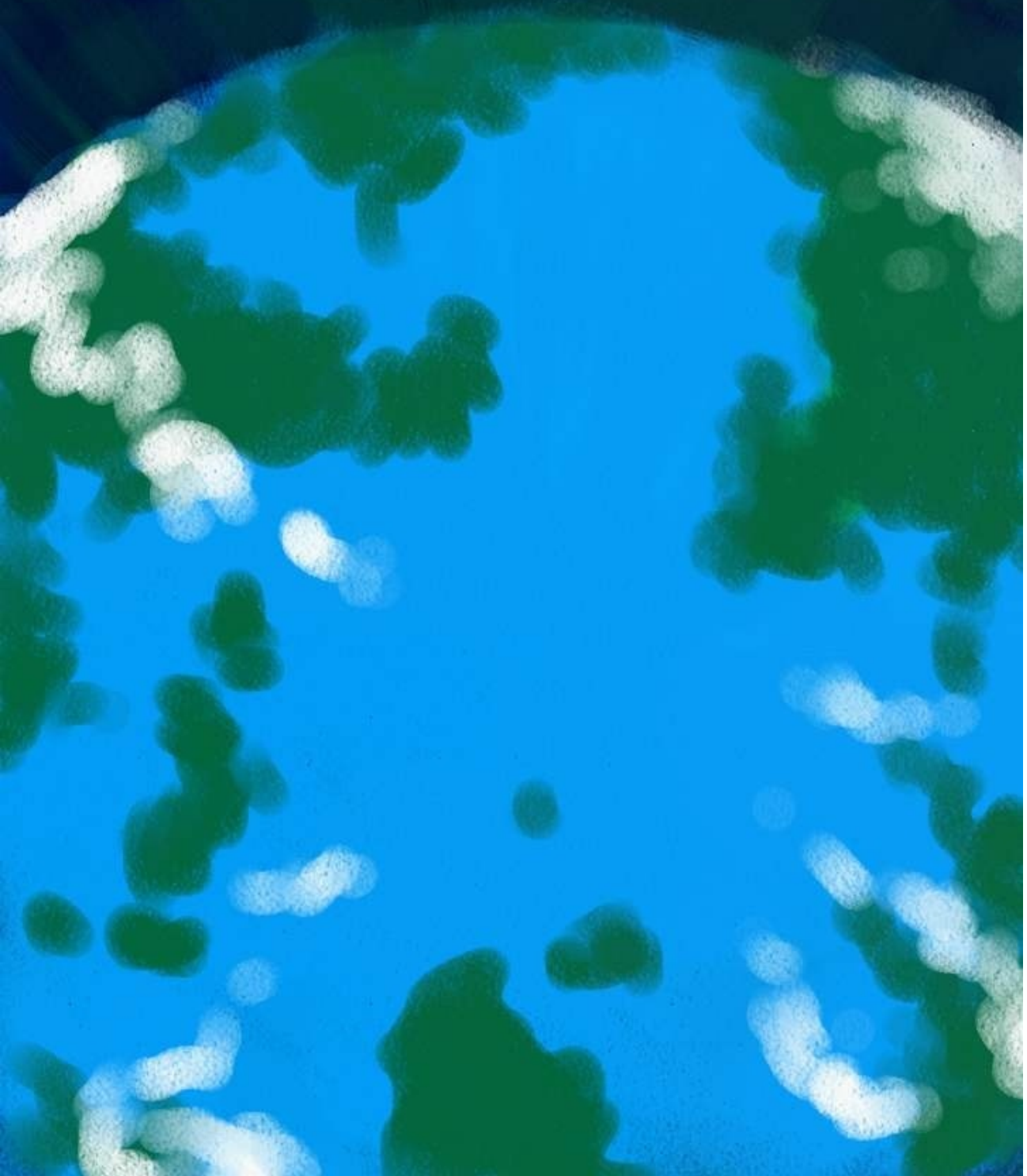


たくさん星をかいたから  
すごく明るくなったけど  
なんか さびしい・・・  
そうだ 大きな星をかこう！

おおきな星をかいてみた  
すると・・・



その大きな星に  
体がグイグイひっぱられる！



気づいたら その星の  
地面に 立っていた



空と草だけで なーんにもないので  
犬とか 鳥とか ちょうちょとか  
たくさん色々 かいてみた



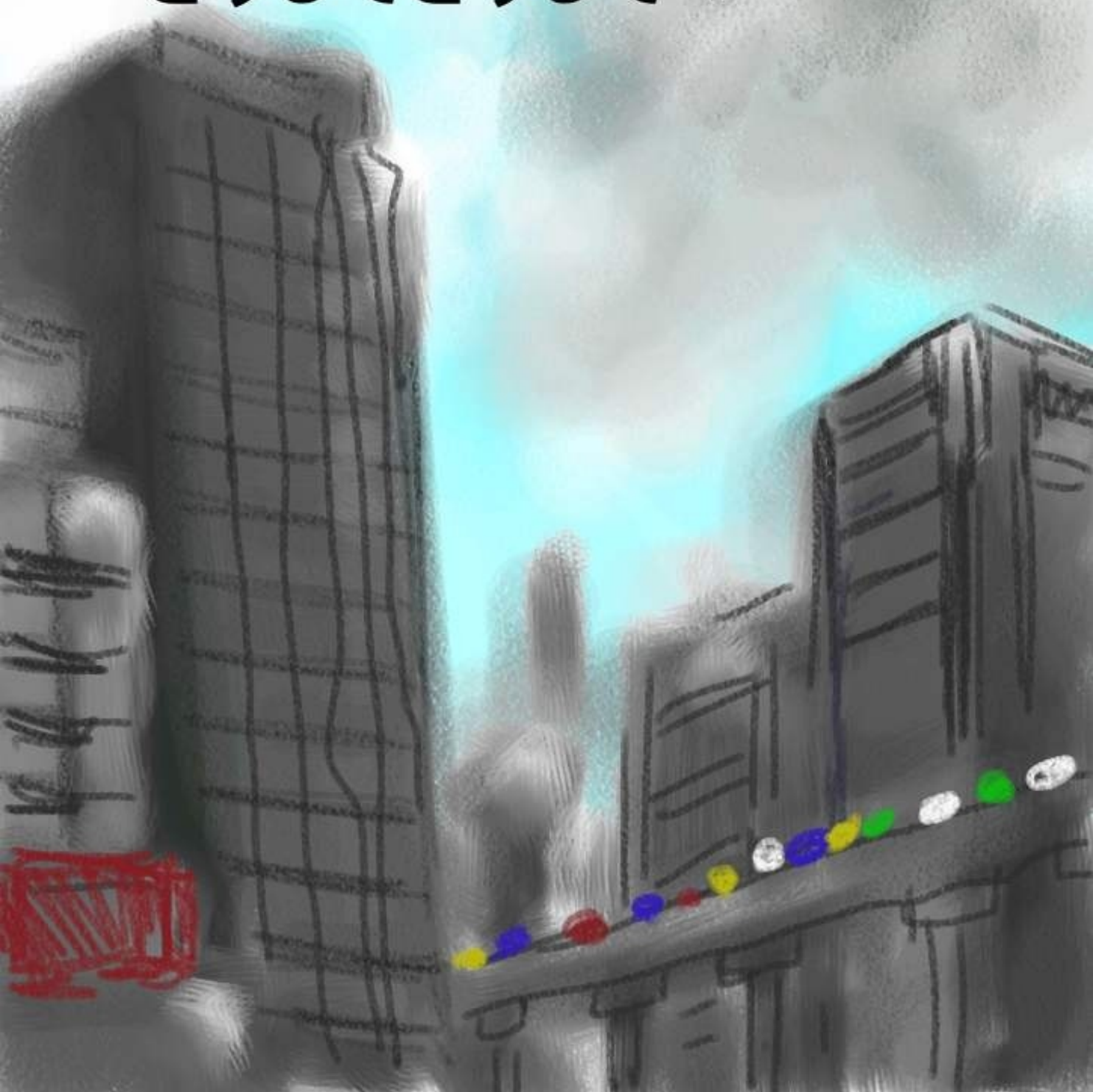
そしたら つかれちゃって  
「ふぁー」 ねむくなっちゃった



すやすや...

あっうっかり寝ちゃってた  
もう そろそろ起きようと  
目をひらいたら  
おどろいた

目が覚めたら  
ぜんぜん別の景色に  
なっていた  
どうしてどうして？



近くにいた  
親切なおじいさんが  
言いました。  
「おまえさんが寝ている間に  
世界が年をとったんだよ」

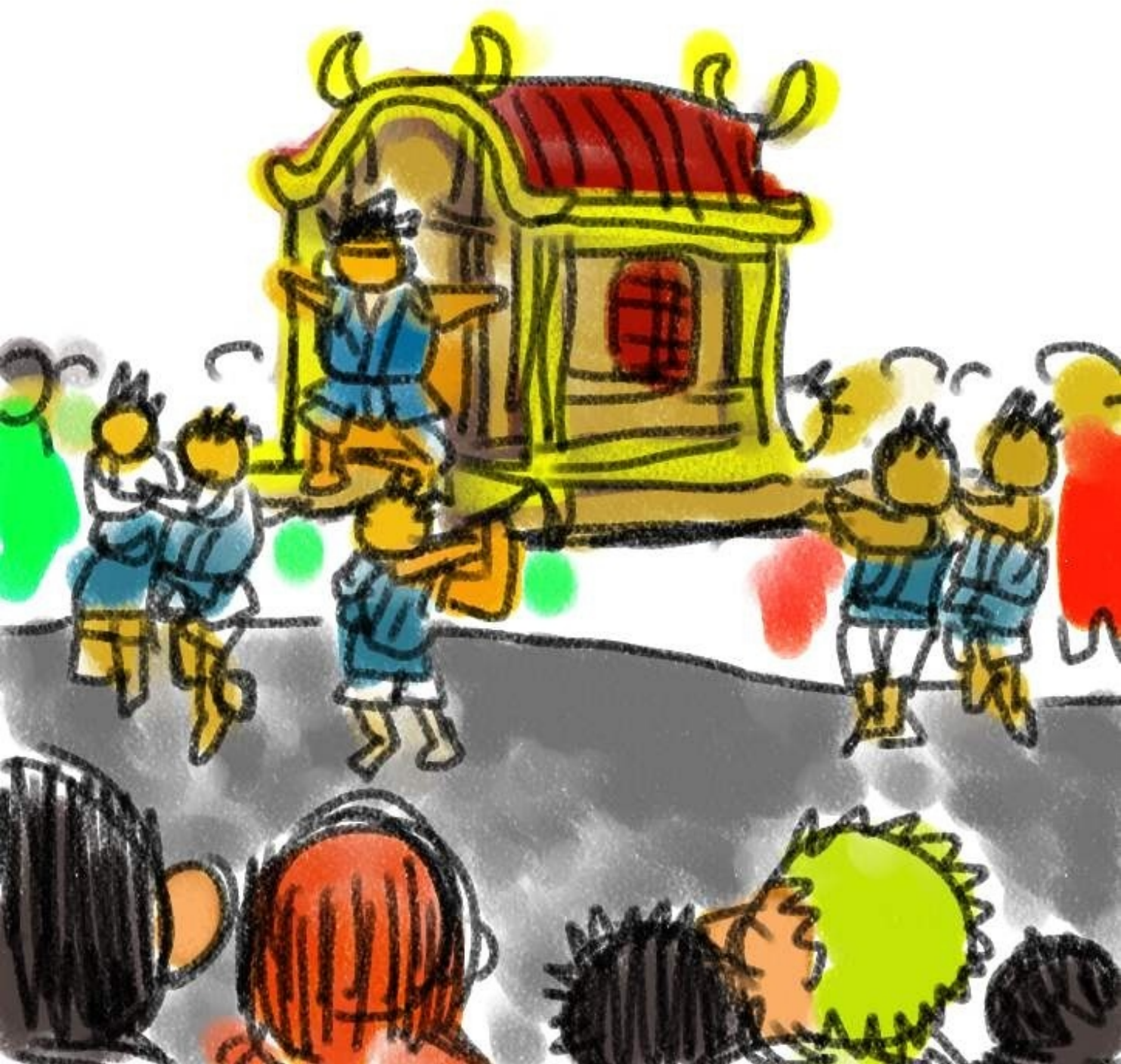


世界が年をとった？  
どういうことだろう？  
とりあえず  
どれくらい変わったのか  
ちょっと散歩してみよう



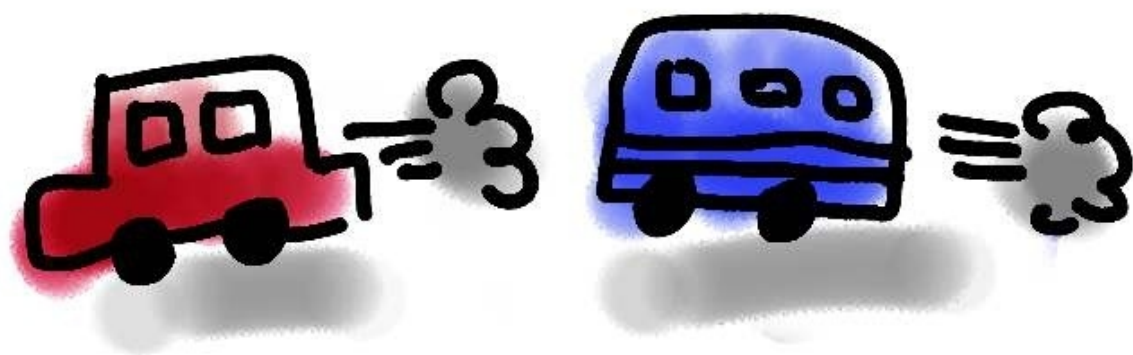
おじいさんに さよならと言って  
道をすすんでみた

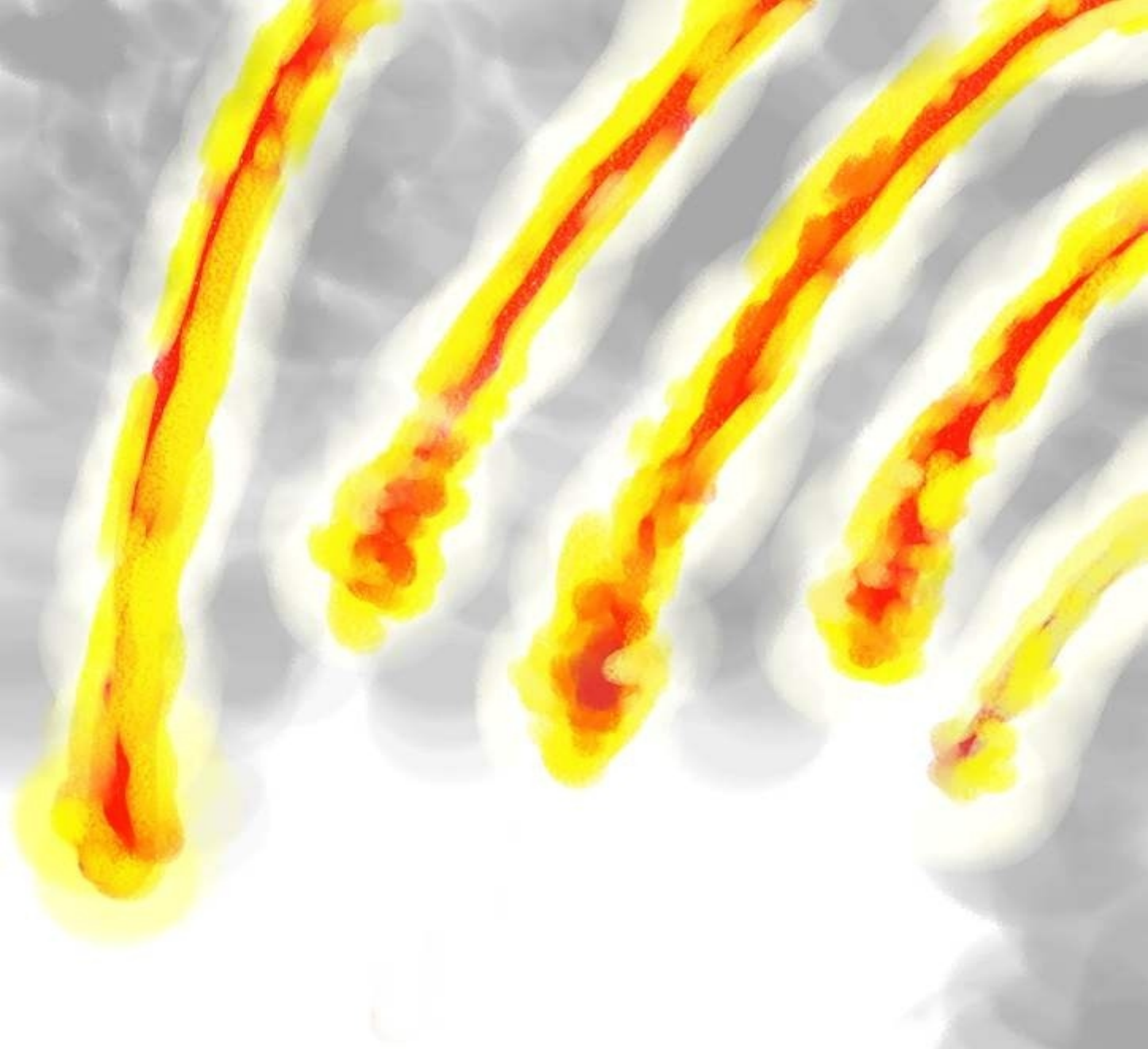
ワッショイ ワッショイ！  
「うわー にぎやかだなあ」  
これは お祭り というものらしい  
神さまに お礼をするんだってさ  
神さまって 誰だろう？





ブーブーあれは車  
足で歩くより はやく遠くに行けるもの  
みんな あんなに急いで  
どこに 行くのかな？





空から何か光のようなものが  
ふってきました  
「わぁキレイだなあ。なんだろう」

その光が地面につくと  
あたり一面が火でいっぱい  
になりました！



「わあ！たいへんだ！」  
すかさず もっていた消しゴムで  
ゴシゴシ！  
火事をけしました

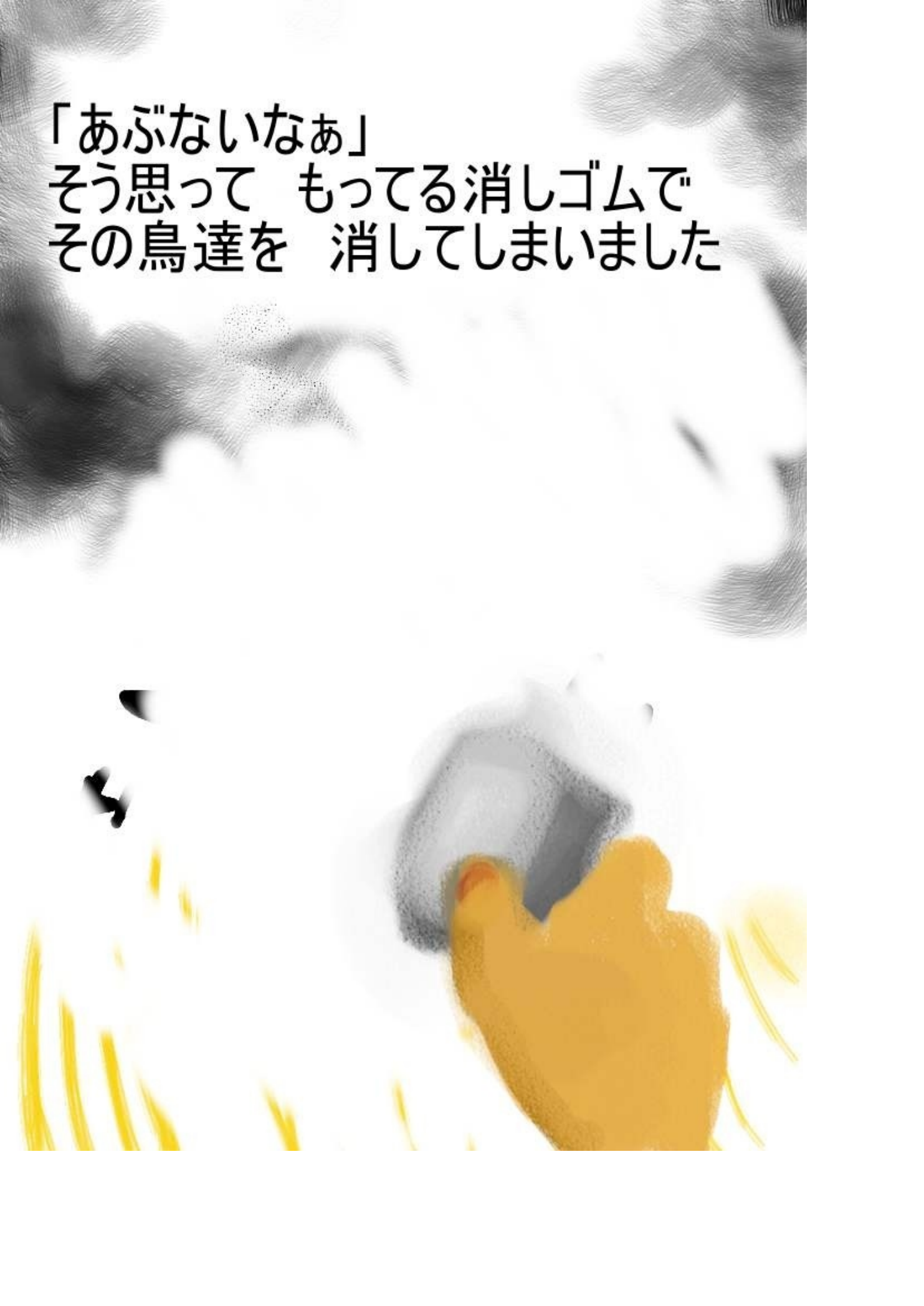


なんで空から あんなものが  
ふるんだらう？

と思ってもっと上の空を見てもみると  
たくさんの 鳥のようなものが  
光の雨をふらせていました



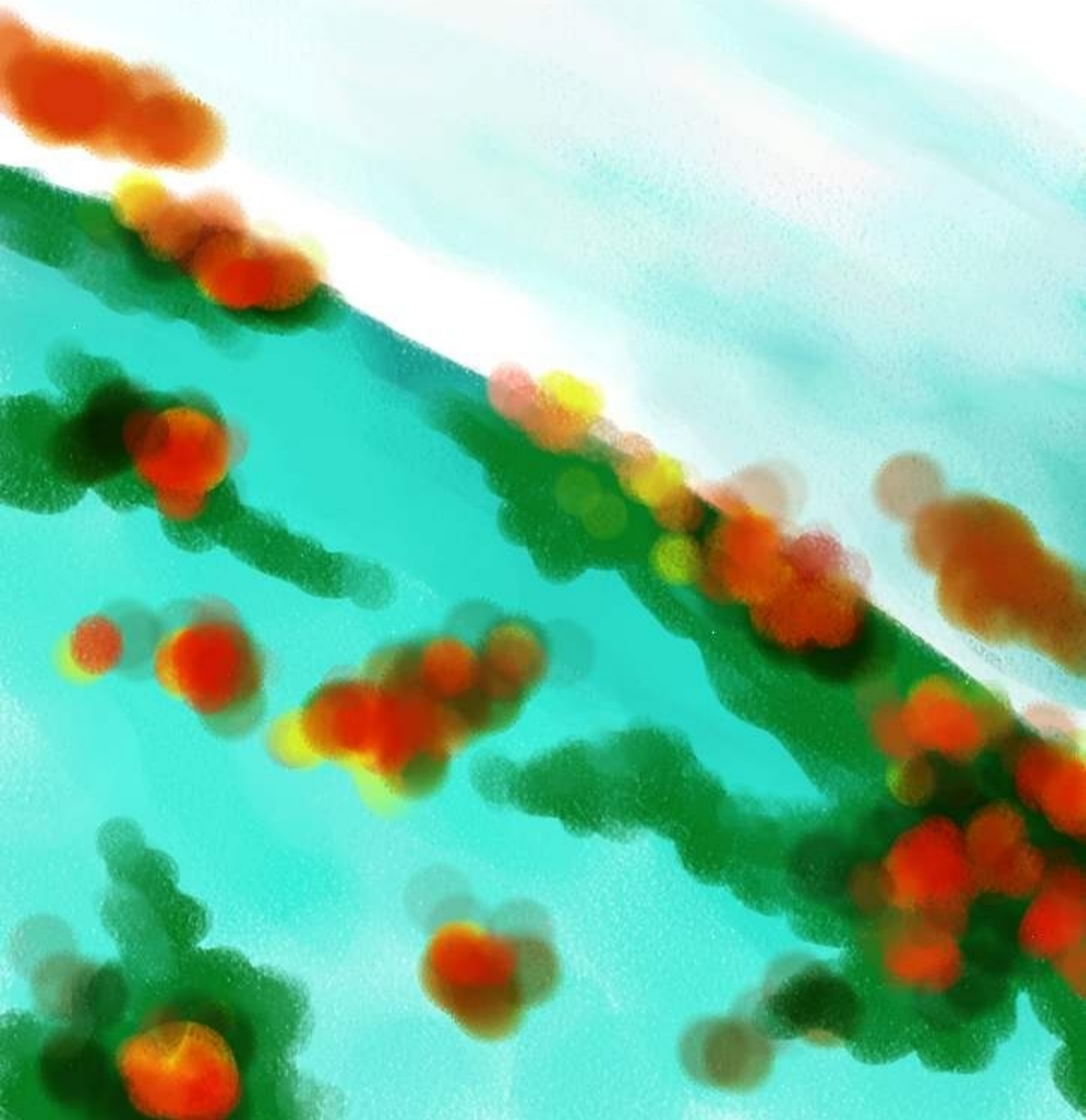
「あぶないなあ」  
そう思って もってる消しゴムで  
その鳥達を 消してしまいました



「他のところはどうなってるんだろう？」  
クレヨンで 背中に乗れる  
大きな鳥を かいて  
空から 世界をみてることにしました



空の上から見てみると  
この星の色んなところで  
さっきのように火がもえていました  
「たいへんだ けさないと」





ゴシゴシゴシ 火をけさないと  
ゴシゴシゴシ ゴシゴシゴシ  
どんなに消しても 次から次へと  
火が出てきます ゴシゴシゴシゴシ  
「手が追いつかないよ」



そんなことを くりかえしてたら  
もとの何も無いところに  
もどってしまいました

なんにもない  
なんにもない  
次は どんな種をまこう

おしまい